

ODOOR 2

オーダーメイドスライドドア [オドア2] アウトセットタイプ

施工説明書

必ずお読みください

対象製品： **片引戸** 1枚 **両引戸** 2枚

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

| 首都圏営業グループ | 首都圏 第1・2・3チーム | TEL (087) 825-3621 | FAX (087) 825-3645 |
|-----------|---------------|--------------------|--------------------|
| 東日本営業グループ | 北海道・東北営業チーム | TEL (087) 825-3632 | FAX (087) 825-3695 |
| | 関東甲信越営業チーム | TEL (087) 806-3660 | FAX (087) 825-3645 |
| | 中部営業チーム | TEL (087) 825-3622 | FAX (087) 825-3646 |
| 西日本営業グループ | 近畿営業チーム | TEL (087) 825-3623 | FAX (087) 825-3647 |
| | 中四国営業チーム | TEL (087) 825-3624 | FAX (087) 825-3648 |
| | 九州営業チーム | TEL (087) 825-3625 | FAX (087) 825-3649 |
| 特需営業グループ | 特需 第1・2・3チーム | TEL (087) 825-3662 | FAX (087) 825-3669 |

注意 本施工説明書は右記の対象製品をひとつにまとめ説明しています。下記の注意事項をよくお読みの上、正しく施工を行なってください。

- 本書は主に片引戸を例に施工手順を説明しています。それぞれの相違点は扉枚数・レールの長さで、基本的な施工方法は同じです。
 - 左勝手の場合は左右対称の取り付けとなります。
- このルールを基本にして、別添の製品詳細図面を参照しながら施工を進めてください。

片引戸



1枚

両引戸



2枚

(両側オープン/片側オープン)

注意事項

施工をされる方へ

- 施工前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しく施工を行なってください。
- 特に「警告・注意」は必ずお守り下さい。施工される方や、ご使用になる方、他人への危害・財産への損害を未然に防止するため、厳守すべき内容を以下に区分表示で説明しています。
- 本書にそわず、間違った施工・取り扱いを行なった場合には、当社での保証はしかねますのでご注意ください。



内装専用の製品です。屋外での使用はできません。

屋外禁止



屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。

水・湿気禁止



粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。

テープ禁止



溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

溶剤厳禁

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の施工・取扱方法について次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全に施工を行なってください。

| | |
|---|----------------------------|
| 誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。 | 本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。 |
| 警告 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。 | ⊘ 「してはいけない」を示します。 |
| 注意 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。 | ⚠ 「必ず行なっていただくこと」を示します。 |
| (※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。(※2)物的損害とは、家屋・家財に関する拡大損害をさす。 | |

| |
|---|
| 警告 |
| ⊘ 指定された部品以外の使用禁止。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。 |
| ⊘ 製品にぶら下がりな。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。 |
| ⚠ 上レールの固定確認。 3方枠、特に上レールは確実に固定できているか必ず確認してください。固定が不十分な場合、部材の落下原因になり危険です。強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。 |

| |
|--|
| 注意 |
| ⊘ スミューザーの分解・改造禁止。 スミューザーを扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、開閉速度に変化が生じ、非常に危険ですので絶対に行なわないでください。 |
| ⚠ 下地補強を必ず行なう。 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。下地は木下地を使用してください。 |
| ⚠ 施工・取付作業は必ず2人以上で行なう。 破損・ケガのおそれがあります。 |

注意 このマークは本文中で施工方法の注意点やポイントを表示しています。

その他の施工に関する注意事項

- 施工前に下記 **開口部の確認** を参考に、躯体の水平・垂直を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
- 本製品はクロス貼り前に施工してください。
- 付属ビスで施工してください。梱包に使用箇所を記し、部材に取付位置を示すシールを貼っています。
- 指定のビス止め箇所は確実に実施してください。施工時は傷がつかないように注意してください。
- 電動工具でビス頭がつかぬよう、締めすぎにご注意ください。

スミューザーについて

- スミューザーは扉を閉じる際の衝突音や跳ね返りを軽減する部材です。指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。
- スミューザーが作動する際、カシャという音が発生します。
- 扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じる場合があります。

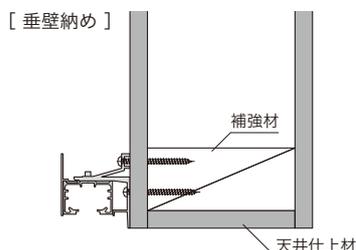
施工時の製品取り扱いに関する注意事項

- 上レールや扉本体上部の吊車周辺などに、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、上レールや吊車の摩耗の原因となり、正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。
- 扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢いよく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。
- 扉本体が汚れた場合、アルミ部分は布スポンジなど柔らかいものを使い、洗剤は必ず台所用中性洗剤を薄めて使用してください。パネル部分はパネルについているゴミやほこりなどを柔らかいハンドモップなどで軽く払った後、水で200倍程度に薄めた台所用中性洗剤を濡した柔らかい布を絞り、軽く拭き取ってください。
- 製品の仮置・保管は直射日光の当たった場所や湿気が多い場所を避け、壁に立てかけずに保管してください。
- 施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようにご注意ください。特に床は養生を行い、製品および床面にキズが付かないようご注意ください。
- 現場の建築完了まで、本体を養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

施工前の確認事項

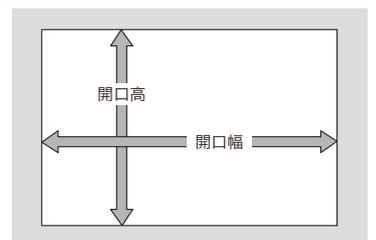
■上レール・天井納まり(参考例)

製品の重量で天井や補強材が垂れ下がらないように確実に補強してください。扉1枚当たり(扉幅900mm×扉高2400mmの場合)、約13kg程度の重量があります。躯体には十分な強度を持たせてください。



■開口部の確認

- 開口部の垂直・水平を下げ振りや水準器で正しくしてください。
- 開口寸法と製品寸法を照合確認してください。



注意

最低3カ所は
ご確認ください。
(採寸箇所：下図矢印部分)



天井や床の
ふくれ・下がり



壁面の
反り・ふくれ



対角のスレ

パーツセット明細

寸法単位:mm

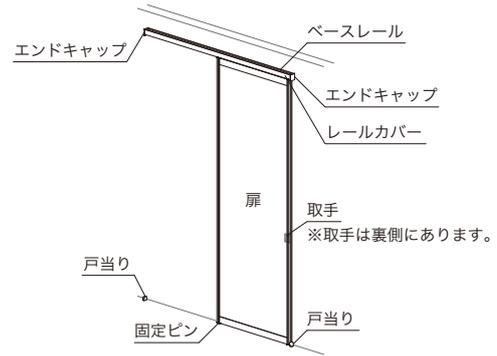
| 納まりタイプ | 片引戸1枚 | | 両引戸2枚 |
|--|------------|--------|-------|
| | 両壁オープン | 片壁オープン | |
| 扉 | 1 | 1 | 2 |
| たて枠 | - | 1 | - |
| ベースレール | 1 | 1 | 1 |
| 上レール | 1 | 1 | 1 |
| 上レールにセット | 吊車 | 1 | 2 |
| | 吊車(スムーザー有) | 1 | 2 |
| レールカバー | 1 | 1 | 1 |
| スムーザー受け金具 | 2 | 2 | 4 |
| バリアブロック | - | - | 1 |
| トラスネジ L=20 (スムーザー受け金具・ バリアブロック取付用) | 4 | 4 | 10 |
| ナット (スムーザー受け金具・ バリアブロック取付用) | 4 | 4 | 10 |
| 固定ピンセット ・固定ピン ・サラビス L=20 | 1 | 1 | 2 |
| 戸当りセット ・バンパー ・取り付け座 ・ナベビス L=25 | 2 | 1 | 2 |
| エンドキャップ | 2 | 1 | 2 |
| ナベビス L=50 (ベースレール取付用) | 16 | 16 | 26 |
| サラネジ L=8 (上レール取付用) | 11 | 11 | 19 |
| トラスビス L=20 (エンドキャップ取付用) | 2 | 1 | 2 |
| ビスキャップセット (たて枠取付用) | - | 6 | - |

注意

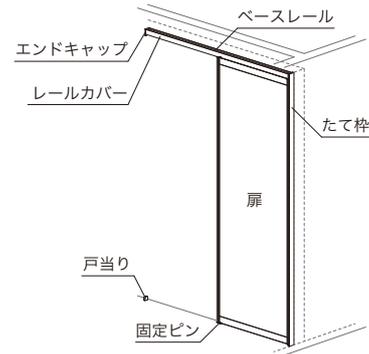
- 部材や部品に不足がないか、ご確認ください。
- 表中、**上レールにセット** は、それぞれ上レールにパーツがセットされた状態で納入されます。右図を参考にして正しい位置・向きにパーツがセットされているかご確認ください。

[パーツ配置図]

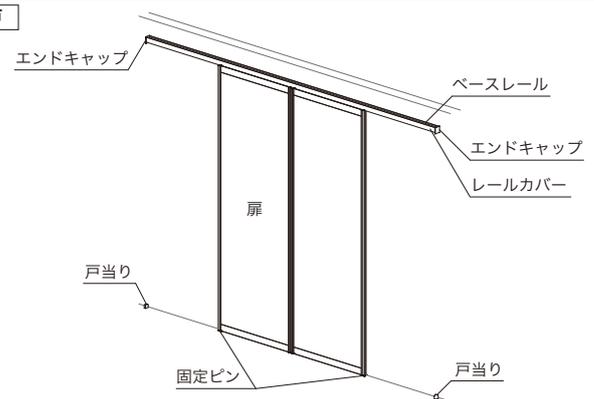
片引戸 (両壁オープン)



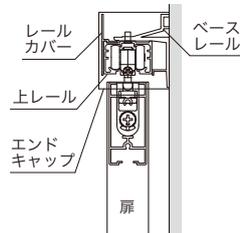
(片壁オープン)



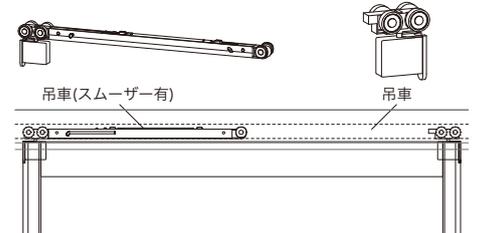
両引戸



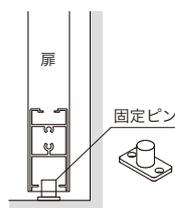
上部仕様 [断面図]



[正面図]



下部仕様 [断面図]

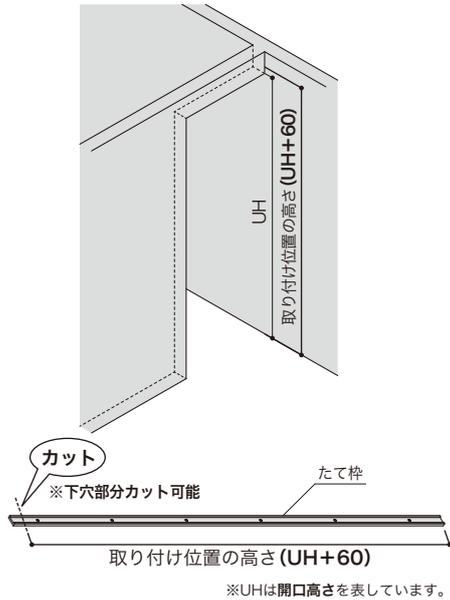


片引戸、両引戸ではパーツの配置が異なります。別添の製品詳細図面を参照し施工してください。

1 たて枠の高さカット・取り付け ※ 片引戸 (片壁オープン) の場合のみ

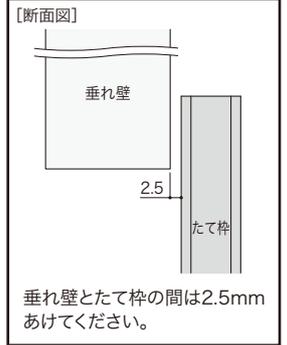
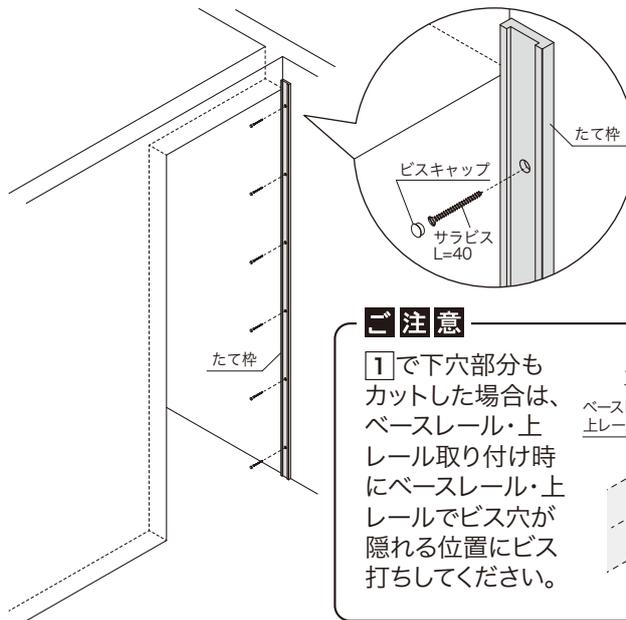
1 高さカット

取り付け位置の高さ(UH+60)に合わせてたて枠をカットしてください。上下どちらからもカット可能ですが、カットした方が上側になります。



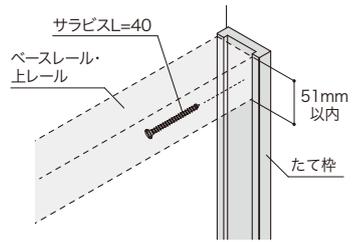
2 取り付け

左右それぞれのたて枠を1でカットした側が上になるようにサラビスL=40で、下穴にそって固定します。ビスで固定した後、同梱のビスキャップを取り付けてください。



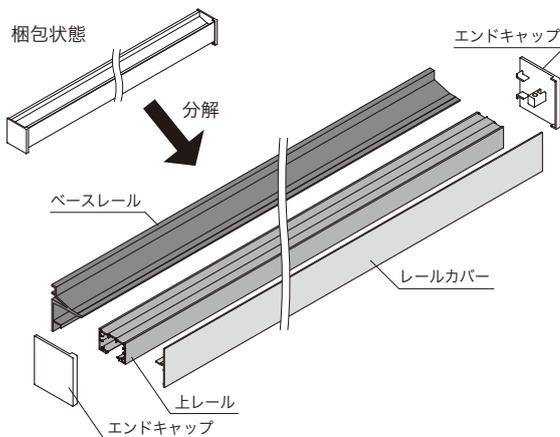
ご注意

1で下穴部分もカットした場合は、ベースレール・上レール取り付け時にベースレール・上レールでビス穴が隠れる位置にビス打ちしてください。



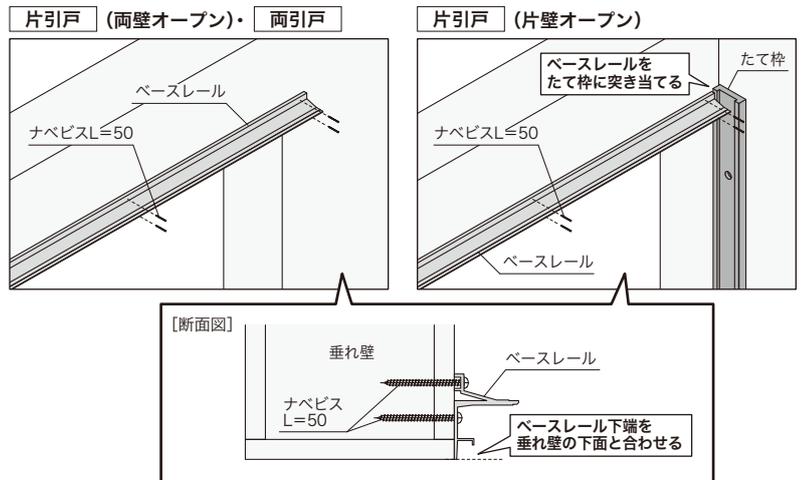
2 事前準備 各部材の分解

仮固定された状態で梱包されている、ベースレール・上レール、レールカバー、エンドキャップを分解します。次にベースレールにビス固定されている上レールを取り外します。



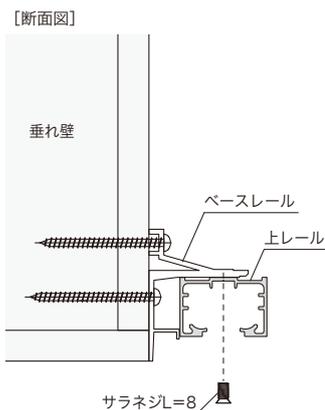
3 ベースレールの取り付け

ベースレールは下穴にそってナベビスL=50で固定します。



4 上レールの取り付け

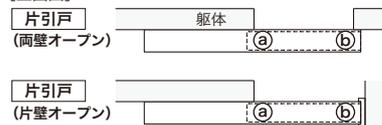
上レールは下穴にそって、サラネジL=8でベースレールに固定します。上レールの取り付け後は両端部につめてあるエアキャップを取り外してください。



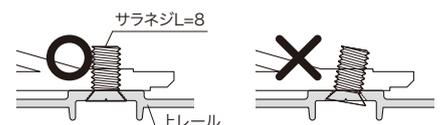
ご注意

- 上レールは現場でカットしないでください。
- 上レール位置が開口部に対してずれていると、開閉時動作が悪くなるので正しく取り付けてください。
- 上レールには吊車、吊車(スムーザー有)が挿入された状態で梱包されています。
- 上レール内に、木くずやゴミが入らないようにご注意ください。ゴミが入っているとソフトクローズ機能が低下するおそれがあります。
- 電動工具は使用しないでください。トルクが強すぎると、ビス頭がつぶれるおそれがあります。
- 吊車、吊車(スムーザー有)は納まりごとに取り付け向きが異なります。上レールは下図を参考に正しい向きに取り付けてください。

【上面図】



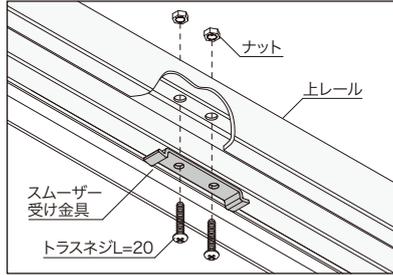
- 上レールの凹部にビス頭が出ないように、天井に対して直角にビス打ちしてください。ビス頭が出ていると、吊車(スムーザー有)と干渉するおそれがあります。



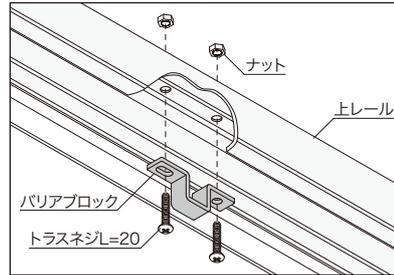
5 スムーザー受け金具、バリアブロックの取り付け

上レールにあっていそれぞれの下穴にスムーザー受け金具、バリアブロックをトラスネジL=20、ナットを使って取り付けます。

スムーザー受け金具の取り付け

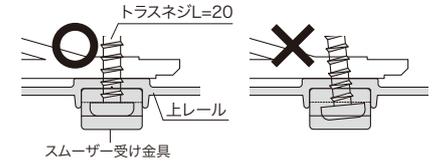


バリアブロックの取り付け



注意

直角にビス打ちしてください。ビス頭が出ていたら、吊車(スムーザー有)と干渉するおそれがあります。



下穴位置参考図 (下穴位置の寸法などは別添の製品詳細図を参照してください。)

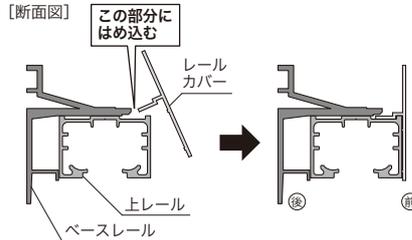
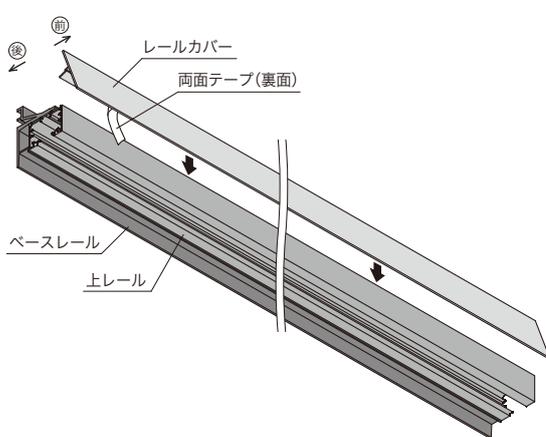
スムーザー受け金具下穴位置: ○ バリアブロック下穴位置: ■■

[上面図]

| | 片引戸 (両壁オープン)(片壁オープン)共通 | 両引戸 |
|---------------|---|-------------------|
| 引き残しなし | <p>外側の下穴を使用する</p> | <p>外側の下穴を使用する</p> |
| 引き残しあり | <p>内側の下穴を使用する</p> <p>※上図は(両側オープン)の場合を表記しています。</p> | <p>内側の下穴を使用する</p> |

6 レールカバーの取り付け

レールカバーを上レールにはめ込み、両面テープで取り付けてください。

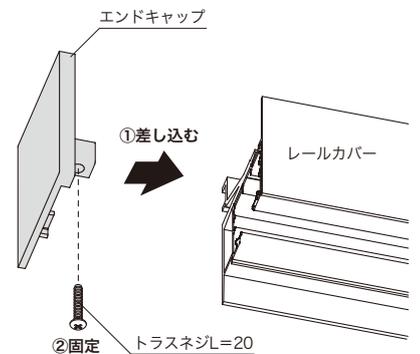


注意

- アルコールなどで上レールのゴミ・ほこりなどを拭き取ってから取り付けてください。
- 両面テープの粘着部に触れないように取り付けてください。

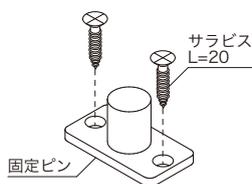
7 エンドキャップの取り付け

エンドキャップをトラスネジL=20で取り付けてください。



8 固定ピンの取り付け

下図を参照し、取り付け位置を墨出した後、固定ピンを同梱のサラビスL=20で固定してください。



固定ピン取り付け位置参考図 (詳細は別添の製品詳細図を参照してください。)

[上面図]

| | 片引戸 | 両引戸 |
|---------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| 引き残しなし | <p>固定ピン</p> <p>30</p> <p>21 6.5</p> | <p>30</p> <p>21 6.5 6.5 21</p> |
| 引き残しあり | <p>30</p> <p>6.5 21</p> | <p>30</p> <p>6.5 21 21 6.5</p> |

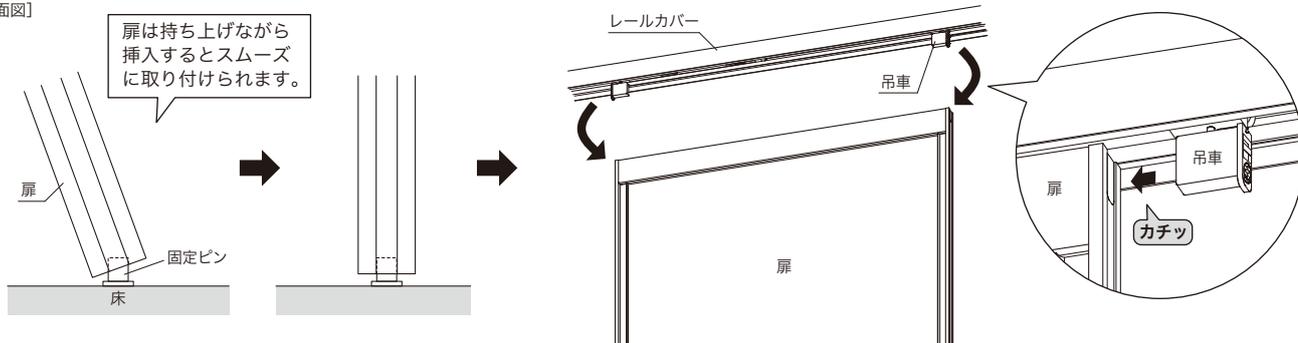
9 扉の吊り込み

固定ピンにゆっくりと扉の溝をはめ込んだ後、吊車を扉に差し込み、吊り込んでください。

ご注意

- 扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏がまっているかどうか再確認してください。
- **片引戸** (片壁オープン) の場合、取手の向きにご注意ください。

【側面図】

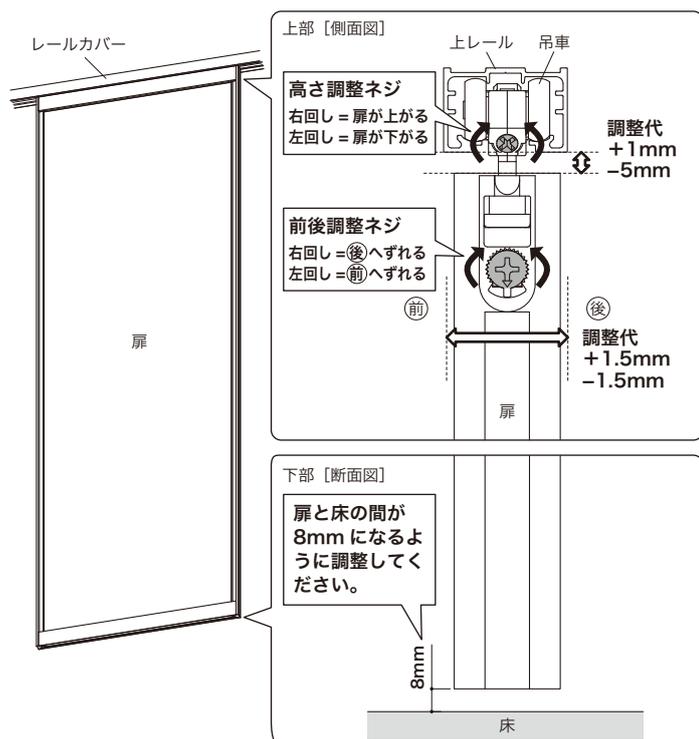


10 扉の調整

吊車の調整ネジにて扉の調整を行なってください。

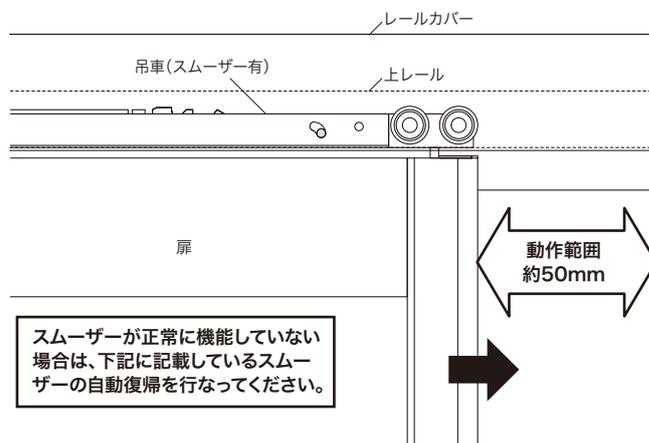
ご注意

調整代以上の調整を行なった場合、他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。



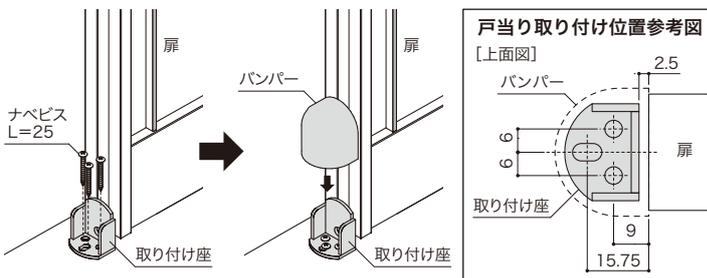
11 スムーザーの動作確認

扉をスライドさせてスムーザーが正しく動作しているか確認してください。



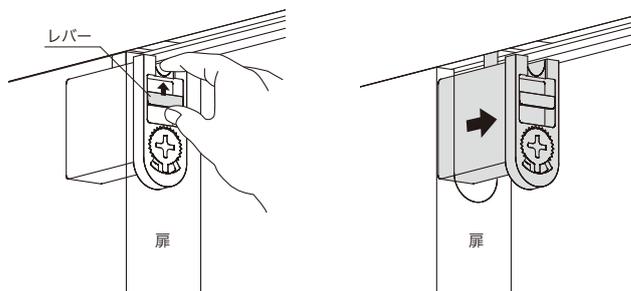
12 戸当りの取り付け

扉本体を最後まで開き、戸当りの取り付け座の位置を決め、ナベビスL=25で固定してください。その後、取り付け座にバンパーを取り付けてください。



扉の取り外し方

吊車(扉両側)のレバーを押し上げ、扉から吊車を抜いてください。抜けにくい場合は、マイナスドライバーを使って吊車を抜いてください。



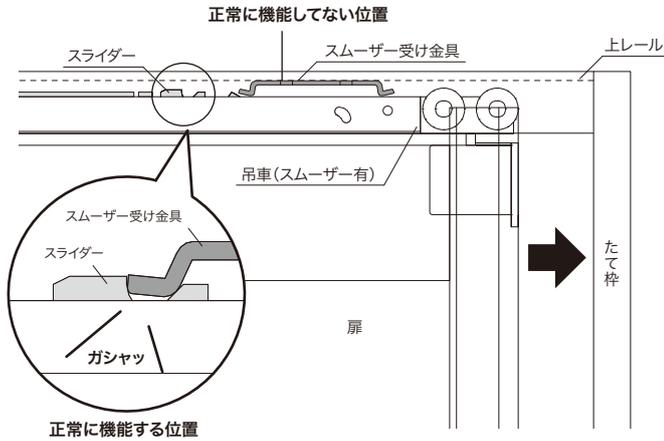
スューザーの自動復帰 ※スューザーが正常に動作しない場合のみ

1 扉を全閉

扉を戸先側に動かし、全閉してください。左右どちらかが 10mm 程手前で一度扉が止まりますので、最後まで閉め切ってください。スライダがスューザー受け金具を乗り越えるとガシャツと音がします。

ご注意

必ずたて枠に当たるまでゆっくりと強く全閉してください。

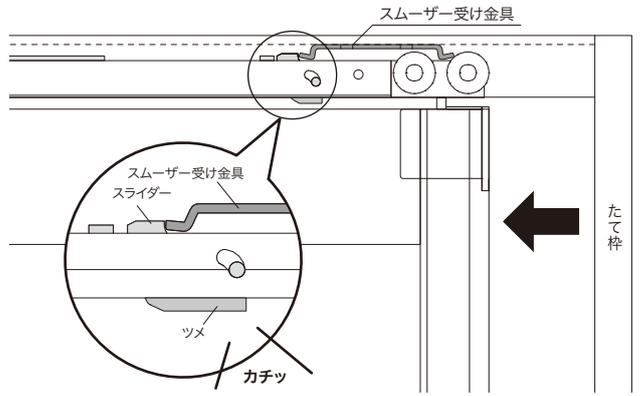


2 扉を開く

スューザー受け金具が見えるまで扉を開いてください。正常に自動復帰するとカチツと音がし、吊車(スューザー有)下側にツメが出てきます。

ご注意

開閉はゆっくりと行ない、スューザー自動復帰後は無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。動作不良の原因となります。



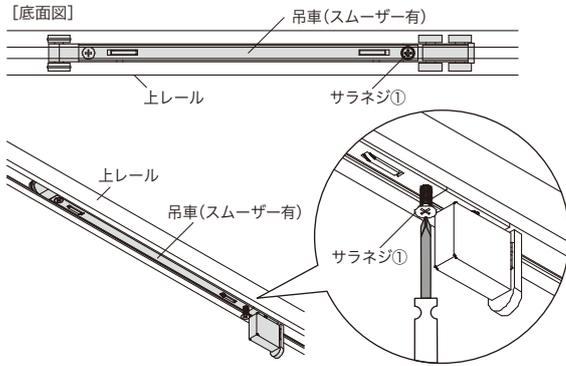
3 スューザー自動復帰の確認

扉をスライドさせてスューザーが正しく動作しているか確認してください。(11 参照) スューザーが正常に動作するまで、上記 1・2 を繰り返してください。

吊車(スューザー有)メンテナンス方法 ※スューザー部を交換する場合のみ

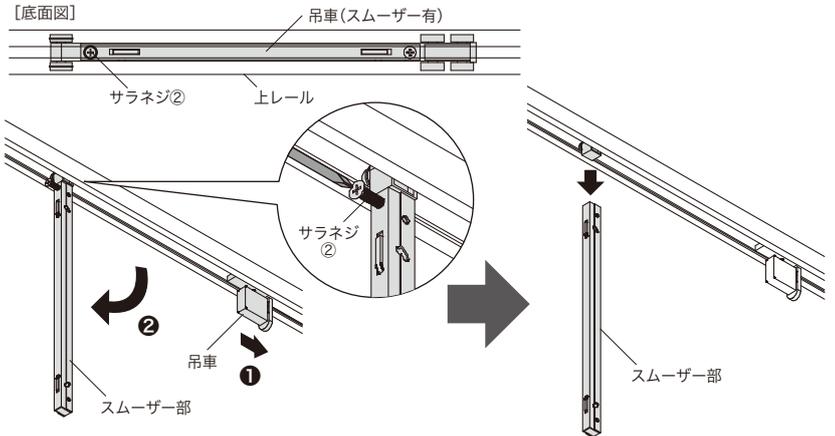
1 扉、ビスの取り外し

扉を外し、吊車(スューザー有)のサラネジ(下図①)を取り外します。



2 スューザー部の引き抜き

吊車とスューザー部を引き離すと、スューザー部が上レールから垂れた状態になるのでサラネジ(下図②)を取り外し、下に引き抜いてください。



ご注意

電動式
ドライバー
使用禁止



3 スューザー部の取り付けは逆の手順で行なってください。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名：オーダーメイドスライドドア オドア2

製造者名称：南海プライウッド(株)

発散区分：F☆☆☆☆

ロット番号：製品梱包に記載

- 構成材料 -

| 部材・部位 | 材料名 | 表示区分 | 認定・登録種類 | 認定・登録番号 | 認定登録機関 |
|-----------|-----------------|-------|---------|----------|-------------------|
| パネル・木調タイプ | オレフィン貼り MDF 化粧板 | F☆☆☆☆ | 自主表示登録 | K-002102 | (一社)日本建材・住宅設備産業協会 |

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先：品質管理グループ 087-894-8025

